



# 心に豊かさを灯す社会の創造～科学・技術を適切に組み入れて～

## 令和3年度における活動実績・成果の概要

東北大学知のフォーラムにおいて、東北大学電気通信研究所・東京エレクトロン株式会社と連携して、「人の幸せを大切にするIoT社会のデザイン」というプログラムを実施した。

**①協働ワークショップ** 2021年9月6日～8日および10日に、東北大学の文系・理系の若手研究者・学生と東京エレクトロンの社員を対象とするワークショップを開催した。（Covid-19の感染拡大状況を受け、Zoomやオンラインホワイトボードmiroを活用してオンラインで行った。）4日間かけて4つのグループに分かれて「どんなIoT技術なら「私らしさ」が実現されるか」について討論し、ELSI（倫理的・法的・社会的課題）の観点からも検討を加え、近未来のストーリーをまとめる作業を行った。その中で、人間に主体性を持たせるとはどういうことか、AIが将来人間にとってどのような存在であるべきかなどについて議論が重ねられた。

**②国際シンポジウム** 上の成果をもとに、2021年12月6日～8日に行われた非線形科学ワークショップ（2021 Nonlinear Science Workshop）において、特別セッションとして国際シンポジウム「Designing the Human-Centric IoT Society」を開催した。

**③市民カフェ** 2021年12月19日に「てつがくかふえ@せんだい」と連携し、アカデミアと市民の対話イベントとして「市民カフェ」を開催した。新型コロナウイルス感染拡大のため、会場に集合するオンサイト参加とZoomを用いたオンライン参加のハイブリッド開催となり、東北大学関係者、一般の方あわせて33人が参加した。9月の協働ワークショップのメンバーから「IoTを駆使した未来予測機は人に幸せをもたらすか？」についての問題提起がなされ、その後、IoTにおけるデータの収集に関して、ユーザー側が抱く「怖さ」などについて多様な人びと、多様な世代の間で議論が深掘りされた。参加者の間で、「人を幸せにするIoT社会のデザイン」とは何かについて社会で議論し、将来を構想していく重要性が共有された。

